

藤沢稲門会・藤沢三田会 合同懇話会

9.11、その時銀行は止まらなかった — 現場責任者の証言 —

2026年9月12日 講師：笹淵 一史 氏（国際教養大学 特任教授）

この用紙は、講演後に内容を思い出していただくための「項目メモ」です。講演スライドそのものの配布資料ではありません。

1 講師の歩み

早稲田大学政治経済学部卒業後、富士銀行（現みずほ銀行）へ。ボストンでの経営大学院留学、ニューヨーク支店勤務、国際企画部、みずほFG、北都銀行などを経て、現在は国際教養大学特任教授。長年、国内外の金融・経営の現場に携わってきました。

2 September 11 — 極限状態の現場で何が起きたか

- ・ワールドトレードセンターで9.11に遭遇 — 現場からの避難
- ・消防・警察・交通機関、そして市民はどう動いたのか
- ・ハドソン川対岸のバックアップ拠点へ — 業務継続への行動
- ・危機の中で発揮された、自発的な判断と行動
- ・BCP（事業継続計画）と、平時からの訓練が果たした役割

3 危機から見た「組織」と「人」の力

危機対応を支えたのは、精度の高い計画だけではありません。役割を理解した一人ひとりが自ら判断し、専門性を発揮して動くこと。リーダーシップ、チームのあり方、そして平時の準備について考えます。

4 9.11から現在の日本へ

- ・国際協調なしには生きられない日本
- ・経済・技術・デジタル分野で問われる国際競争力
- ・人材育成、大学教育、社会人の学び直し
- ・専門性・国際性・自ら学び考える力
- ・変化に対応できる組織と経営、人を惹きつける国へ

5 未来へのキーワード

Forward-Looking 先進性・先を読む力	Excellency 卓越性・専門性	Crowdsourced Intelligence 群賢切磋・多様な知恵を活かす
------------------------------	-----------------------	---

講演を聞いて、心に残ったこと

講演中の写真撮影・動画撮影・録音はご遠慮ください。

藤沢稲門会・藤沢三田会